

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 群馬県立利根実業高等学校（※正式名称を記載）

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒378-0014

群馬県沼田市栄町165-2

E-mail tonejitu-hs@edu-g.gsn.ed.jp

Website http://www.nc.tonejitu-hs.gsn.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子259名 女子211名 合計470名

幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、農業系2学科（生物生産科、グリーンライフ科）、工業系学科2学科（機械システム科、環境技術科）から構成される専門高校である。

教育目標は「地域に根ざした特色ある専門高校の創造」である。その目標を達成する手段の一つとして、ユネスコスクールのネットワークのもと、各学科の特色を活かし①環境教育活動、②食育活動、③地域ボランティア活動を軸としたESD活動を実践している。

① 環境教育活動

- 1) 草花の活用に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性を活用した活動を理解させるとともに、植栽活動などを通し実践力を身に付けさせる。
- 2) 利根郡・沼田市地域の特色を生かした自然・文化・交流をテーマに、地域資源の有用性を理解させるとともに、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。
- 3) 森林の利用・保全に必要な知識と技術を習得させ、森林の役割や生態について理解させるとともに、森林の保全と利用を図る能力と態度を育てる。

② 食育活動

- 1) 地産地消について必要な知識を習得させ、地産品の特性と加工方法を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
- 2) 地域の自然環境・特性についての知識を習得させ、農産物の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上の改善を図る能力と態度を育てる。

③ 地域ボランティア活動

- 1) 生徒と職員がともにステップアップできる、地域に根ざした特色ある専門高校を目指し、産業社会や地域社会で意欲的に活動できる、誠実で思いやりのある人材を育成する。
- 2) ボランティアなどの体験的な学習を通し、勤労の尊さや創造することの喜びを体得させ、望ましい勤労観、職業観の育成や社会奉仕の精神の涵養に役立てさせる。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ユネスコスクール公式 Web サイト、独立行政法人環境再生保全機構公式 Web サイト、国連開発計画公式 Web サイト 等
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1年次の「総合的な学習の時間」において、①ユネスコスクールについて、②ユネスコスクールの取り組みと目標、③当校のユネスコスクール活動と目標について講義形式の授業を行い、当校のユネスコスクール活動について理解させる。

2年次からは、各科・コースの専門科目と関連づけたユネスコスクール活動を行う。例として、生物生産科では科目「野菜」で学習した内容を生かし、出前授業形式による児童への野菜栽培指導や園児へのサツマイモ収穫体験等を実施している。

また、農業関係学科においては、農業クラブ活動として地域公共施設への草花プランタの寄贈（花いっぱい運動）。生徒会が中心となって行う「地域清掃ボランティア活動」を実施している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌にユネスコスクール係を設置し、係を中心にユネスコスクール活動の計画・立案等を中心に行う。農業・工業系の学科は、係の計画に基づいて、各専門科目で取り組めるユネスコスクール活動を実施している。

また、生徒会やJRC部、農業クラブ係に対しても、ユネスコスクール係より活動内容の提案等を行い、学校全体でユネスコスクール活動が活性化するように取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価に、ユネスコスクール活動の内容についての項目を取り入れ、内部・外部評価を年2回実施している。

環境教育活動・食育活動・地域ボランティア活動に関わる項目については、内部・外部評価ともA評価となっている。特に、環境教育活動と食育活動については、出前授業形式の活動が高い評価である。

今後の課題は、今後もユネスコスクール活動を継続的に続けていくことである。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

昨年度は、第7回ESD大賞審査委員特別賞をいただいた。本年度は、その活動の成果を地区のユネスコ協会や行政機関で発表する機会があり、当校のユネスコスクール活動を地域へ情報発信することができた。

また、ユネスコスクール活動の一貫として、高校生を対象とした各種大会に参加し、生徒の発表活動による情報発信を行っている。

これらの成果として、地域からの活動に対する発表依頼や取材等があり学習活動の活性化にも繋がっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地域のユネスコ協会との連携を行っている。当協会が中学生を対象とする『国際理解バス』や『平和の鐘を鳴らそう運動』に生徒がボランティア活動として参加している。また、当協会の総会に参加させていただき、当校での活動や取り組みについて発表させていただいている。

本年度は、日本ユネスコ協会連盟主催「カンボジアスタディツアー」への生徒参加及び同協会連盟からの学校訪問(カンボジア寺子屋運動等について)があった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

現在、他のユネスコスクールとの交流は実施していない。今後の計画として、県内中学校のユネスコスクールとの交流を開始し、中高連携型のネットワーク形成をしたいと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

当校生徒においては、ユネスコスクール活動で取り組んだ内容について、各種の大会に積極的に参加し発表するようになった。例として、全国ユース環境活動発表大会や全国ボランティア・アワード、ボランティア・スピリット・アワード等に参加し入賞している。

また、当校のある沼田市に隣接する利根郡みなかみ町の中学校では、本校の取り組みを参考にユネスコスクール加盟を目指して取り組んでいる。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

当校では、継続して下記の活動を計画している。

①環境教育活動

コミュニティーガーデンの設営・管理、花の寄せ植えプランタの製作と公共施設への寄贈（花いっぱい運動）、間伐材・リユース材を利用した花用プランタ・ベンチの製作と配布及び設置、地域文化施設の景観保全活動、交流を通しての花育活動、グリーンカーテンづくり、野生動物生息調査を中心としたワイルドライフ・マネジメント 等

②食育活動

産官学連携による食品開発及び普及活動、ブランド米の生産及び普及活動、お米栽培を通しての児童への食育活動、給食センターへの食材提供、園児への収穫体験による食育教育、児童への野菜栽培を通しての食育活動、中学生への食農教育 等

③地域ボランティア活動

地域清掃ボランティア活動、学校開放講座、公共機関と連携した公道緑化活動、そば打ちを通しての災害被害地でのボランティア活動、野菜栽培や花を通してのボランティア活動、ネームプレートの製作と幼稚園への寄贈、伝統工芸品カスターネットの製作と小学校への寄贈 等